

白馬村・小谷村では、「ふきのとう」を
 方言で『ちゃんめろ』と言います

発行：長野県姫川砂防事務所〔北安曇郡小谷村千国乙10307-3/電話 0261-82-3100
 HP <https://www.pref.nagano.lg.jp/himesabo/>〕

土砂災害危険箇所合同パトロールを実施しました

例年6月に全国一斉に実施される土砂災害防止月間に合わせて、土砂災害の防止や被害の軽減を目的に、松本砂防事務所姫川出張所との共催で、白馬村、小谷村の土砂災害危険箇所の合同パトロールを6月21日(金)に実施しました。

砂防事業を計画している箇所や、工事を行っている現場などの状況を確認し、関係機関の皆さんと土砂災害に関する情報共有がなされました。

(参加機関：長野県砂防ボランティア、国土交通省松本砂防事務所姫川出張所、大町警察署、北アルプス広域消防北部消防署、白馬村、小谷村、北アルプス地域振興局、大町建設事務所、姫川砂防事務所)



小谷村深原地区で地区防災マップを利用した避難訓練を実施しました

7月25日(木)に、小谷村深原地区で、地区防災マップを利用した避難訓練を行いました。昨年度、旧公民館で2回意見交換会を行い、地区防災マップを作成しています。今回の避難訓練は、このマップが有効に活用されるかの検証を含めて実施しました。

当日は、防災無線による避難の呼びかけや、消防団による巡回により、地区の皆さんが素早く避難されていました。避難完了後には、消火器の訓練や、負傷者（人形）の搬送訓練が行われ、最後の反省会では、「阿原地区の臨時避難場所（耕作組合倉庫）が遠い。発電機が必要では」という意見が出ていました。



訓練当日、防災に関するアンケートを行いました。

アンケート結果から、『皆さん防災意識は非常に高いが、日頃の備えまでは、なかなかできていない』ことが分かりました。今回のような訓練を継続し、危険箇所・避難場所・情報伝達・高齢者の避難支援等を確認することが、“災害時の備え”として大切と思われます。

長野県治水砂防協会姫川支部定期総会が開かれました



7月17日(水)、長野県治水砂防協会姫川支部は、令和元年度定期総会を白馬アルプスホテルで開催しました。

新年度における事業計画及び予算が承認されるとともに、役員の改選が行われ、支部長に下川白馬村長、副支部長に中村小谷村長がそれぞれ選出されました。

また、小谷村長、長野県治水砂防協会姫川支部長、姫川砂防事務所長などの要職を歴任し、多年にわたり地域の砂防関係事業の推進に多大な功績を残された松本 久志氏が砂防関係事業功労者として表彰されました。おめでとうございます。

【ご来賓の皆様】



宮澤県議



国土交通省松本砂防事務所
石田所長



長野県建設部砂防課
藤本課長

宮澤県議、長谷川建設部長が八方岩を視察されました

8月1～2日に北アルプス地域振興局管内の建設部の事業箇所にて現地視察が行われました。当所所管事業では地すべり対策事業小谷村八方岩を宮澤県議、長谷川建設部長に視察していただきました。

当該箇所は、ICT土工や完全週休2日制を導入し、建設現場の働き方改革を推進している現場のため、大変興味深い様子で、担当者や現場代理人からの説明を受けられていました。

また、現地視察の後には、長野県治水砂防協会姫川支部等との意見交換会が行われ、姫川支部から宮澤県議、長谷川建設部長に砂防関係事業の促進に係る要望書が提出されました。



現場紹介No. 2

下里瀬 雪崩対策工事 （北安曇郡小谷村 下里瀬地区）

■本事業について

下里瀬地区のこの斜面は勾配25°の急斜面で、過去には3.0mの積雪の記録があります。雪崩は過去に4回発生しており、近年では平成24,25年に1回ずつ発生しています。これまで人的・家屋などの被害はありませんが、雪崩の想定被害範囲には、人家や福祉センター、宿泊施設、田畑、国道などがありますので、雪崩予防柵を設置し、地域住民の安全・安心を確保することを目的としています。



現場位置図



下里瀬地区の斜面



雪崩発生状況

■工事の進捗状況について

工事は平成30年～令和3年の予定です。雪の影響を受けない限られた時期に工事を進めることが必要のため、計画的に進めていきます。

地域の方々には、工事車両の通行や工事騒音などでご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。



■主任技術者（平成30～令和元年度）から一言

この工事は、下里瀬地区の公共施設、人家、田畑等を雪崩災害から守り、地域の方々が安心して生活が出来るよう、進めているものです。

現場は急斜面のため、モノレールや作業足場を設置し、作業員の転倒、転落に充分注意しました。

株式会社鷺澤建設 清水 芳人

ICT土工（盛土）の現地研修会を実施しました

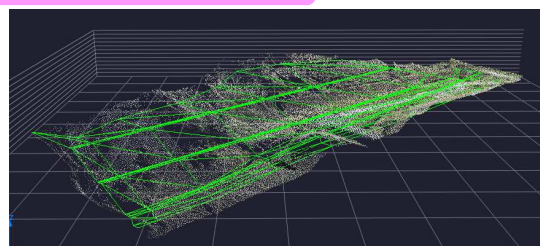
県建設部の技術系職員及び県測量設計業協会会員を対象に、7月25日(木)に地すべり工事の現地研修会を行いました。会場となった小谷村八方岩の現場では、地すべりの下部に盛土を行い、地すべりの活動を抑える工事を実施しています。この工事では、ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）を活用しています。

建設業は、他の産業に比べて労働生産性が低いことから、近年、効率的に建設作業を行うための技術開発が進められています。この現場では、『①地上レーザー測量により、瞬時に3D測量作業を行う ②ブルドーザーで土を敷き均す高さを、人工衛星からの位置情報を利用して制御する ③盛土の転圧状況（回数）を図上（モニター）で、色で分かるようにガイドする』といった技術が活用されています。

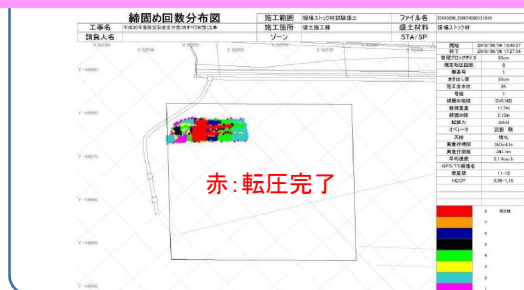
研修当日は、暑い中、皆さん熱心に、施工業者さんによる現場説明やICT建機メーカーさん、3D測量メーカーさんの説明を聞かれていました。建設業の新しい技術が開発される中、こうした実際の現場での研修会が、新しい技術の普及に非常に役立つものと思われます。



活用① 測量・設計の3D化



活用③ 転圧回数を色で見える化（モニター画面）



姫川建設業協会と協働で草刈りを行いました

7月5日(金)に小谷村の黒川沢、日かげ沢、濁沢で、砂防施設周辺や管理道路の草刈りを行いました。この活動は、平成17年9月1日から県が実施する「砂防施設等維持管理ボランティア活動支援事業」として行っているものです。

この日は、姫川建設業協会から17名、当所から6名の計23名が集合し、雑草が繁茂した通路などを丁寧に整備しました。

7月7日(日)、13日(土)には、この場所で小谷村主催の「砂防ダム巡りバスツアー」が行われ、参加者からは、「堰堤の回りや道がきれいで見学がしやすかった」と大変喜ばれました。



砂防カード「第2弾（平成29年度版）」の配布を終了しました

長野県治水砂防協会姫川支部が発行している「砂防カード」のうち『第2弾（平成29年度版）』の配布を終了しました。ご好評いただきありがとうございました。

なお、『第3弾（平成30年度版）』は、絶賛配布中です。こちらも在庫限りの配布となりますので、お早めに入手を。（配布方法などは、姫川砂防事務所ホームページでご確認ください。）